

鹿児島県工事成績評定要領の考査項目に関する Q&A

このページでは、2020年1月及び2019年1月に改定された鹿児島県工事成績評定要領の考査項目に関する質問と回答を掲示しています。

目次

- 1-1 施工体制
- 2-2 工程管理
- 2-3 安全対策
- 3-2 品質管理
- 5 創意工夫
- 改訂履歴

1-1 施工体制

社外の品質証明員

令和2年1月改定から土木工事共通仕様書で示す品質証明員の資格及びその履行内容が適正な場合に評価することとして、品質証明員は社内、社外を問わないことにしています。

Q1-1-1 社外の品質証明員の要件は、どのようなものですか？

社外の品質証明員とは、共通仕様書に定める品質証明員の資格を有し、かつ、次の各号のいずれにも該当しない者をいいます。

- 一 受注者（その親会社等、子会社等及び親会社等の子会社等を含む）から、品質証明業務に係る報酬以外の報酬を受ける者
- 二 前号に規定する者の配偶者又は二親等内の親族である者

Q1-1-2 親会社等、子会社等とは？

親会社等とは、会社法第二条四号の二で規定するものをいいます。

子会社等とは、会社法第二条三号の二で規定するものをいいます。

親会社等の子会社等とは、親会社等と同じくする、いわゆる兄弟会社をいいます。

Q1-1-3 受注者から受ける報酬とは？

ここでいう報酬とは、賃金、給料、俸給、手当、賞与その他いかなる名称であるかを問わず、労働の対償として受ける全てのものをいいます。

2-2 工程管理

休日の確保

令和2年1月改定から、休日の確保(週休2日)に対する評定は、「週休2日」試行工事実施要領に基づく現場閉所率を用いて評価することとしています。

2-3 安全対策

過積載

Q2-3-1 過積載を繰り返している業者の見分け方は？

国土交通省は、過積載の依頼を繰り返している荷主に対して「協力要請書」を渡しています。さらに過去3年間に2回「協力要請書」を渡した荷主には「警告書」を渡しています。

過積載を繰り返している業者かどうかは、「協力要請書」又は「警告書」の有無で判断できます。また、悪質な過積載を行った運輸事業者に対しては、九州運輸局が企業名を公表しています。

3-2 品質管理

コンクリート

Q3-2-1 「断面変化部の打設では、沈下ひび割れを防止するため、先行打設の沈下を待って後続の打設を行った。そしてこれを示す記録が残っている。」とありますが、記録とはどのようなものですか？

一例として、時刻が写し込まれた写真が該当します。

Q3-2-2 ひび割れ及び耐久性向上に効果がある特注品の例は？

高性能 AE 減水剤を使用した場合も、該当します。

Q3-2-3 高性能 AE 減水剤とは？

JISA6204 の基準（下表）を満たす混和剤です。

JIS A 6204 表3—化学混和剤の性能

項目	AE 剤	高性能減水剤	硬化促進剤	減水剤			AE 減水剤			高性能 AE 減水剤		流動化剤		
				標準形	遅延形	促進形	標準形	遅延形	促進形	標準形	遅延形	標準形	遅延形	
減水率 %	6 以上	12 以上	—	4 以上	4 以上	4 以上	10 以上	10 以上	8 以上	18 以上	18 以上	—	—	
ブリーディング量の比 %	—	—	—	—	100 以下	—	70 以下	70 以下	70 以下	60 以下	70 以下	—	—	
ブリーディング量の差 cm ³ /cm ²	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.10 以下	0.20 以下	
凝結時間の差 分	始発	-60～+60	+90 以下	—	-60～+90	+60～+210	+30 以下	-60～+90	+60～+210	+30 以下	-60～+90	+60～+210	-60～+90	+60～+210
	終結	-60～+60	+90 以下	—	-60～+90	0～+210	0 以下	-60～+90	0～+210	0 以下	-60～+90	0～+210	-60～+90	0～+210
圧縮強度比 %	材齢 1 日	—	—	120 以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	材齢 2 日 (5℃)	—	—	130 以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	材齢 7 日	95 以上	115 以上	—	110 以上	110 以上	115 以上	110 以上	110 以上	115 以上	125 以上	125 以上	90 以上	90 以上
	材齢 28 日	90 以上	110 以上	90 以上	110 以上	110 以上	110 以上	110 以上	110 以上	110 以上	115 以上	115 以上	90 以上	90 以上
長さ変化比 %	120 以下	110 以下	130 以下	120 以下	120 以下	120 以下	120 以下	120 以下	120 以下	110 以下	110 以下	120 以下	120 以下	
凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)	60 以上	—	—	—	—	—	60 以上	60 以上	60 以上	60 以上	60 以上	60 以上	60 以上	
経時変化量	スランプ cm	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.0 以下	6.0 以下	
	空気量 %	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	±1.5 以内	±1.5 以内	

Q3-2-4 コンクリートの配合決定に関する次の規定の加点事例は？

考查項目は「コンクリートの配合決定にあたっては、施工条件や気象条件に応じて、単位水量ができるだけ少なくなるように、生コン工場の技術者と協議して決定した。そしてこれを示す記録が残っている。」です。

加点となる例は次のとおりです。

- (1) 複数の生コン工場の配合計算書における標準偏差 σ (2~3N) を比較して、 σ の少ない工場を選択した。
- (2) 複数の生コン工場の配合を比較して、単位水量が少ない工場を選択した。
- (3) 試験練りを実施して配合を決定した。

5 創意工夫

共通

Q5-1 型枠に関する創意工夫で、品質の向上に効果がある事例は何ですか？

セパレーターのかぶりを確保するために、いわゆる「ロング P コン」などを使用した場合が該当します。

改訂履歴

2019 年 3 月 1 日初版

2019 年 3 月 13 日 Q2-2-2 工程管理（標準的な工期）に関する質問を追加

2019 年 3 月 18 日 Q3-2-4 コンクリートの配合決定に関する加点事例、Q5-1 創意工夫の型枠に関する加点事例を追加

2019 年 3 月 29 日 Q1-1-1 社外の品質証明員の要件を追加

2021 年 3 月 17 日 Q2-2-2 工程管理（標準的な工期）に関する質問を削除